

今年度(令和5年度)取り組む予定のがん対策 施設名【 北部地区医師会病院 】

1. 予防(喫煙、感染、飲酒など)

2. 検診・早期発見

- ・健康管理センターより、住民健診・企業検診・人間ドックなどの受診勧奨
- ・健診後、必要な方への二次検診への誘導の強化

3. 医療提供体制(3療法、チーム医療、医療連携、ゲノム、病理、新規実装など)

4. 支持療法(緩和、在宅、支持、リハビリ、妊孕性など)

- ・がん性疼痛のアセスメントと評価:苦痛のスクリーニングから緩和ケアチームの介入を強化
- ・令和4年より緩和ケア担当医による訪問診療を開始、在宅療養への移行をスムーズにする
- ・告知時の看護師等の同席

5. 個別医療(希少、難治、小児、AYA世代、高齢者、離島・へき地など)

- ・在宅や施設入所中の高齢がん患者の意思決定支援の仕組みづくり
- ・入院中のがん患者の意思決定支援の強化

6. 情報提供・相談支援

- ・コロナ渦で縮小しているがん相談支援センターの地域への広報・周知を拡大
- ・がん相談支援基礎研修(1)1名(2)1名(3)3名:修了者の増員
- ・患者とその家族が利用可能なインターネット環境の整備

次ページへ続く

7. 就労支援

・治療と仕事の両立支援の院内外への広報・周知

8. 社会的な問題への対策(アピアランスケア、自殺対策、疎外感の解消、偏見の解消など)

・アピアランスケアの充実
・がん患者の自殺対策の強化:フローの見直しや院内研修の実施

9. 基盤整備A(人材育成など)

・がん化学療法看護認定看護師教育課程の受講希望者の育成
・がん専門薬剤師の確保(育成)

10. 基盤整備B(がん登録、進捗確認など)

・がん登録初級研修(現1名)中級研修(現2名)修了者の増員

11. 基盤整備C(研究、がん教育、啓発、患者・市民参画など)

・地域住民や介護施設等へ向けたがん教育の企画・実施